

主題：聖書の核心

メッセージ 9

ヨハネによる福音書の核心

聖書：ヨハネ 10:10-11, 15-17, 21:15-17, 詩第 23 篇

- I. キリストは良い牧者であり、羊のためにご自身の命を捨てました。それは神聖な命において、一つの群れ、ひとりの牧者となるためです——ヨハネ10:16：
- A. 良い牧者として、主イエスが来たのは、わたしたちが命を得、しかも豊かに得るためです—— 10-11 節。
- B. 良い牧者はご自身の羊のために自分の人の命を捨てて贖いを達成しました。それは彼らのご自身の神聖な命を得るためです—— 11, 15, 17 節。
- C. 良い牧者として、主はご自身をもって、また牧場としてのご自身の中でわたしたちを養うことによってわたしたちを養いました—— 9 節：
1. 牧場は、羊を養う場所としてのキリストを表徴します—— 9 節。
 2. 今日わたしたちの牧場は命を与える霊としての復活したキリストであり、わたしたちの日常生活において、わたしたちは彼の豊富な供給を享受します—— 11:25, I コリント 15:45 後半。
- D. 良い牧者として、主は神聖な命においてわたしたちを導き、案内し、方向づけます——ヨハネ 10:14, 27-30：
1. キリストはわたしたちの命であることによって、わたしたちを牧養します—— 10 節, 11:25。
 2. キリストはわたしたちの中で生きることによってわたしたちを牧養します。彼がわたしたちの内側で生きるとは、実は彼の牧養です—— 14:20。
- E. 良い牧者としてのキリストの牧養の下で、「一つの群れ、ひとりの牧者となります」—— 10:16：
1. 一つの群れは一つの召会、一つのキリストのからだを表徴します。それは主の永遠の、神聖な命によって生み出されたものであり、主はご自身の死を通してご自身の肢体の中へと命を分け与えました—— 16-18 節, エペソ 2:14-16, 3:6。
 2. 主はご自身の牧養の下で、ユダヤ人信者と異邦人信者を一つの群れ、一つの召会へと形成しました——ヨハネ 10:10-18, エペソ 2:14-16。
 3. 主の羊は神聖な命を受けました。そして神聖な命によって羊は一つの群れとして共に生活します。
 4. キリストの牧養を享受するために、わたしたちは一つの群れ、一つの召会である必要があります。
- F. 牧養についての章であるヨハネ第 21 章はヨハネによる福音書の完了であり、究極的完成です。牧養がヨハネによる福音書のかぎです—— 15-17 節：

1. ヨハネによる福音書を知るために、わたしたちは牧養が何であるかを知る必要があります。
2. ヨハネによる福音書は、キリストが来てわたしたちをはぐくみ養うことによってわたしたちの命となることについての書です—— 10:10. 11:25. 13:1。
3. 主は復活の後、使徒たちの務めとご自身の天の務めとを合併させて、神の群れ、召会を顧みています—— 21:15-17。

II. ヨハネによる福音書におけるキリストの牧養は、詩篇第23篇で描写されている霊なるキリストの牧養の成就また実際です——詩23:1. ヨハネ 10:10-11 :

A. 「彼はわたしを緑の牧場に伏させ」——詩 23:2 前半 :

1. 「緑」は、命の豊富を表徴します。緑の牧場は、わたしたちの養いであるキリストご自身です——ヨハネ 10:9。
2. キリストは、肉体と成ること、死、復活を通して、わたしたちの緑の牧場、養う場所となることができます。

B. 「彼は……憩いの水辺にわたしを伴われます」——詩 23:2 後半 :

1. 憩いの水は、その霊、すなわち、キリストの復活の後に究極的に完成された霊を表徴します——ヨハネ 7:37-39。
2. 緑の牧場と憩いの水は、命を与える霊である、復活した、霊なるキリストです—— I コリント 15:45 後半. ヨハネ 14:16-18。

C. 「彼はわたしの魂を回復し」ます——詩 23:3 前半 :

1. 回復することは、復興されること、新しくすること、造り変えを含みます——ローマ 12:2。
2. わたしたちの主は、わたしたちの魂の牧者また監督者として、わたしたちの内側の各部分の益を顧みることによって、またわたしたちの真のパーソンの状態を監督することによって、わたしたちを牧養されます—— I ペテロ 2:25。

D. 「彼は……彼の御名のために、わたしを義の途に導かれます」——詩 23:3 後半 :

1. キリストは、わたしたちが義の途を歩くように導き、神の義の要求を満たすようにします——ローマ 8:4。
2. キリストは、わたしたちの魂を回復します。それは、わたしたちが義の途を歩くためです。

E. 「たとえ、死の影の谷を歩いても、わたしは災いを恐れませんが、あなたがわたしと共におられるからです。あなたの棒とあなたの竿、それらがわたしを慰めます」——詩 23:4 :

1. わたしたちは彼の目に見えない、個人的な臨在を享受します——マタイ 28:20 後半。
2. 主の棒は主の権威の象徴であり、それはわたしたちを保護するためです。そして主の竿は、導きのため、教え導くため、訓練のため、指示するため、支えのためです。
3. この谷において、わたしたちは神を復活の神として経験します—— II コリント 1:8-9。

- F. 「あなたはわたしの前にわたしの敵の前で、宴席を設け、わたしの頭に油を塗ってください。わたしの杯は満ちあふれています」——詩 23:5 :
1. わたしたちが霊的な戦いに従事して敵を打ち破るなら、主の食卓で、わたしたちの宴席としての主の豊富な享受を持つことでしょう。
 2. 主はわたしたちの頭に油を塗り（祭りの時の宴席で行なわれるように）、わたしたちの杯（祝福の杯）は満ちあふれています—— 5 節後半、ヘブル 1:9、I コリント 10:16 前半, 21。
- G. 「わたしの命の日の限り、必ず良きものと慈愛がわたしを追いかけて来ます。わたしは日々いつまでもエホバの家に住みます」——詩 23:6 :
1. 「良きもの」はキリストの恵みを指し、「慈愛」は御父の愛を指し、「追いかけて来」ることはその霊の交わりを指します。こういうわけで、御子の恵み、御父の愛、その霊の交わりがわたしたちと共にあります——II コリント 13:14。
 2. 手順を経て究極的に完成された三一の神を享受することは、わたしたちを神の家における神の享受に導き入れます——詩 23:6、エペソ 1:3-23。
 3. キリストの牧養の目標は、わたしたちを神の家（神性と人性の合併としての御父の家）の中へともたらすことです——ヨハネ 14:2-3, 20。